

権現山とわたし②—権現山を守り、育てる

はぐく いくく 森を育み、慈しむ活動である「ボランティアによる権現山憩の森整備事業」を紹介します。



令和4（2022）年度の遊歩道整備には26名が参加



広島市森林組合の指導員から手順を学びます



「いきいきポイント」（広島市の「高齢者いきいき活動ポイント事業」）が付与されます

美しさ、楽しさを実感できる憩の森に

市民の方々に森林の維持管理と自然環境保全への理解を深めてもらおうと、広島市安佐南区役所では平成9（1997）年からボランティアを募り、権現山憩の森の整備を体験していただいています。ボランティアの皆様の協力により、「山」本来の美しさ、楽しさを実感していただく施設を目指し

ています。実施は9～12月の間。花や紅葉の鑑賞、野生動物や虫の観察などの四季折々の自然が楽しめる里山の育成、竹林の整備、森林インストラクターと歩く自然観察会、遊歩道の維持管理などを行っています。

令和4（2022）年度の遊歩道



この日は、権現山林道協の阿武山登山道入口から約200mの区間の丸太階段を整備しました

の整備では、広島市森林組合の指導員の指導のもとに、古くなった丸太階段の入れ替えを行いました。古い横木を撤去し、新しい丸太を据えられるよう溝を掘って整えます。水平になるように丸太を据えて、丸太を止める杭を打っていきます。



横木を入れ替えるため新しい丸太を運びます

歩きやすい
道に



左から大塚さん、尾越さん、廣田さん

初参加の3人。権現山には1、2回登ったことがあるという大塚茂子さんは「雰囲気がいい山なので皆さんが歩きやすくなれば」「楽しかったです」と尾越ユリ子さん。廣田徳子さんは「次の自然観察会も楽しみです。よい経験になりました」と笑顔で話してくれました。

山に恩返し



東区の横山祐三さん。「山登りが好きなので、いつも楽しませてもらっている山に恩返しがしたいと思い参加しました。やってみると意外と手応えがありましたが、自分が手がけたところがきれいになったのを見るのはうれしいですね。また登りに来ようと思います」



バールで古い横木やクギを撤去。溝を掘って新しい丸太を据えます



とても歩きやすくなりました。遊歩道整備はその年によって内容や区間が変わります



2か所に杭を打って留めます。作業が終わったら道具を洗って椿油を塗り手入れします

山を大切にしよう

何回か参加しているという女性お二人にお話を伺いました。散歩代わりに毎日のように登っているという多田浩子さんと要田千慧さん。ほかの人と協力してコツを教えてもらったりしながら楽しく行っているそう。自分が手がけたところを歩くのは楽しいし、ボラ

ンティアに参加することで、普段から山を歩くときに「山を大切にしよう」という意識が働くようになったとか。

権現山憩の森整備ボランティアは、広島市広報紙「市民と市政」などで参加者を募集します。ぜひ参加してみてください。